

子どもたちからのメッセージ 豊かな自然環境を未来に！



鹿谷小学校児童によるメッセージ発表の様子

子どもたちからの感動的なメッセージ

大会最終日の27日は、アトラクションとしてミュージカル劇団ドラゴン・ファミリーの公演から始まりました。その後全体会として、前日行われた11の分科会それぞれから、内容の概要などについて発表が行われました。そして、鹿谷小学校の6年生14人が子どもたちからのメッセージとして、自分たちが取り組んできた赤とんぼの生態調査や外来種駆除の取り組みを紹介しました。勝山の赤とんぼが、特定の農薬を使わない田んぼから発生していることから、「ぼくたちは、生き物がいっぱいいる田んぼからとれるお米を食べたい。」とアピール。そして、大人たちがいまだに川にゴミを捨てている現状などから「自分たちの将来のために、きれいな自然を残してほしい。私たちは勝山を自慢できる大人になりたい。」と呼びかけ、会場から大きな拍手を受けていました。



劇団ドラゴン・ファミリーの熱演

かつやま宣言を採択

日本環境教育学会の阿部治会長（立教大学教授）による記念公演が行われ、持続可能な社会への転換の重要性が説明されました。そして、今大会における「かつやま宣言」が採択されました。骨子は次の通りです。
 ・地域の自然環境保全と、自然と共に生きる意識の醸成
 ・資源、人、くらしの3つを結びつけた持続可能な地域づくり
 ・環境への配慮ができる人づくりを目指す、持続可能な発展のための教育の推進
 ・環境自治体会議が培ってきた地域間連携を強化し、目標設定と、その達成実績を積み上げる

分野別数値目標を設定

全体会では、会員自治体が災害支援協定を締結することを確認しました。また、10項目の分野別数値目標を設定し、10年後に80%の実施率を目指すことも確認し、3日間の会議は幕を閉じました。



各分科会からの報告の様子



阿部治氏の記念講演

第20回環境自治体会議 かつやま会議を終えて



かつやま会議
実行委員長
石井 紀夫さん

勝山市で開催された第20回環境自治体会議は、多くの参加者から「参加してよかった」「感動した」という感想をいただき、3日間の日程を終了しました。

分科会では、勝山市から各事業者、各団体、各地区から長年継続してきた実践発表がありました。その中で、小中学生が地域の動植物の生態調査や河川清掃についてわかったことを大人に向けて発信し、地域全体への啓発の心に響くものがありました。これらは勝山市環境保全推進コーディネーターや学校現場の先生方、地域のみなさんのご指導の賜物であります。また、勝山高校日本文化部の和太鼓演奏、劇団



来年度開催地、鹿児島県日置市へ引き継ぎ

ドラゴン・ファミリーのミュージカル、ともに大変感激いたしました。かつやま会議が終了したこの時点で、環境への取組を一過性のイベントで終わらせることなく、これまでの歩みを継続し、これからも実績を積み上げていきたいと考えております。今回の環境自治体会議かつやま会議に関わっていただいた全ての皆さまに深く感謝して、心からのお礼を申し上げます。

「勝山エコライフ」フォーラム



環境自治体会議を終えて

勝山にとって今年最大のイベントとも言える、環境自治体会議かつやま会議が終了しました。参加した環境自治体の方や、市民の皆さんの感想を聞かざり、大成功であったと思います。

今回は、従来の会議の枠にとらわれず、様々な「初」があったことも功を奏したと思います。なかでも、次の2つの「初」は印象的でした。1つは、土日開催で多くの勝山市民が参加し、最新の知見を共有できたことです。もう1つは、子どもから大人への科学的、論理的、印象的な発信が行われ、聞いていた大人全員に強烈なインパクトを与えたことです。

他の参加自治体からは、「これまでで最高だった」「今回の会議が今後を変える」という嬉しい言葉をいただきました。

特別編

これからがスタート
ただ、私としてはこれがスタートだと捉えています。今後、市民全員が本当に勝山を誇りに思い、子どもたちとともに、さらに勝山を良いまちにする動きが表面化してきた時こそが、本当の成果だと思います。

参加者は、今回の会議で勝山の環境や教育にさらに強い関心を抱いたことでしょう。まずは、その方々が、環境自治体会議に参加せず、関心ももたなかった方々に、参加し得たものを伝えてみてください。無関心層をどれだけ少なくできるかが、勝山の今後を決めます。

参加者の声

環境自治体会議には、これまでに5回参加しています。日野市も川と丘陵のまちで、勝山市にも親しみを感じました。

かつやま会議は、地元の皆さんの参加がとても多いですね。環境運動は市民を巻き込んだ運動にしていかなくてはなりません。これからもがんばってほしいです。

中尾ひろえさん (77)
市民団体代表＝東京都日野市＝

来年会議を開催する日置市の実行委員をしています。

かつやま会議に来て、スタッフの方々がとても丁寧に、段取りよく対応されていたことに感銘を受けました。分科会、交流会についても、とてもうまく運営されていました。

池田 俊市さん (55)
団体職員＝鹿児島県日置市＝